



皆さん、おはようございます。

春休み中も多くの生徒諸君が部活動等に励んでいる様子を見て大変うれしく思いました。

それぞれ進級し、今日から新しい学校生活がスタートします。新学年になった今、気持ちに変化はありますか。このあと学年の先生方の発表もありますが、充実した1年にしてほしいと思います。

さて、年度の始めにあたり、まず、はじめに皆さんに伝えたいことは改めて、越谷南高校の一員としての「自信と誇り」を持って学校生活を送ってほしいということです。

本校は今年で創立50年目を迎えました。皆さんは、記念すべき50年目に在籍しています。皆さんにはこれからの50年、つまり100年を見据えた越谷南高校のスタートに立っているということのプライドを持ってほしいと思います。

学校の中だけでなく、校外においても自分は越谷南高校の代表であるという気持ちを持って、どこで、誰に見られても恥ずかしくないよう胸を張って堂々と行動してほしいと思います。

皆さん一人ひとりが越谷南高校の顔である、看板を背負っているという自覚を持ってください。

それでは、今日は、「基本に戻る⇒心に余裕を持つ⇒流れを呼び込む」ということについてお話したと思います。

皆さんも普段の生活の中で思ったように物事が進まないことは沢山あると思います。

その結果、上手くいかなくなると環境が悪いとか、誰かが悪いなどとか、何かのせいにしたがるかもしれません。

ただ、それでは何の解決にもならず、自分の成長を妨げることになり、達成感もないと思います。

そのような時は、あまり難しく考えず、一度「基本に戻る」ということを心掛けてみてはどうでしょうか。

物事を進めるうえで、「運が良いとか悪いとか」いろいろ言うこともありますが、しっかりと基本を徹底していれば、「運」というのは悪くならないと思います。

「掃除をしっかりと行う」とか、「元気よく挨拶をする」ということは、「運」が良くなることへの近道だと思います。

この基本に戻るということに、特に能力は必要ありません。しっかりと意識して、想いを込めて続けることで、流れは良い方向に向かっていくと思います。

先月、WBC（ワールドベースボールクラシック）野球の国・地域別対抗戦、世界一決定戦が行われ、日本中が多いに盛り上がりました。見た人も多いと思います。その中でMVPを獲得した大谷翔平選手ですが、その行動の中でも話題を呼んでいるのが、試合中にグラウンドのゴミを拾うというものです。その様子がたびたびメディアに取り上げられています。

なぜ大谷選手はゴミ拾いをしているのでしょうか。

そのきっかけは、いろいろ言われていますが、その一つが高校一年生の頃にまで遡ります。

この「ゴミを拾う」という教えは、母校、花巻東高校の恩師である監督によるもので、その監督は

「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい」

「ゴミを拾って運を拾う」「ゴミを拾って自分にツキを呼ぶ」。

大谷選手はこの教えを守り、ゴミを拾い続けていると言われています。

もちろん、ゴミを拾うだけで結果を残すことはできないでしょうが、「高校生の頃からゴミ拾いを大事な行動」として意識し、今でもそれを続けること自体が心を清らかな状態に保ち、心に余裕が表れているということではないでしょうか。試合中にゴミを拾うということは、ゴミが見えているということ。そして、ゴミが見えるほど周りをよく見ているということだと思います。

このような行動も生きていく上での基本だと思います。

皆さんが使っている教室や廊下、部室やその活動場所にゴミは落ちていませんか？
ゴミは見えているでしょうか？

意識を少し変えるだけで、流れは変わって来ます。

迷ったら、困ったら、まず基本に戻る、そして気持ちに余裕をつくり、自分の気持ちがブレないようにして、また次へ進む、ということが続けていくとすべてのことが良い方向に向かっていくと思います。

これから1年間、いろいろなことにチャレンジしていくことと思いますが、勉強もスポーツも一緒に、基礎基本ができていないと、いくら沢山のことを積み上げようとしても土台がしっかりしていなければ、ひっくり返ってしまいます。

まずは、今まで積み上げた土台をさらに丈夫なものにして、より良い高校生活を積み上げてください。

最後になりますが、今日このあと、皆さんの後輩も入学します。先輩として、「自信と誇り」に満ちた姿を示してください。

今年も校長室の扉は空けています。相談や報告があるときはいつでも遠慮なく来てください。

以上、年度初めの始業式のあいさつとします。

